

2025(令和7)年度 入学試験問題

# 課題作文

## 論 題

2025年3月13日実施  
一般選抜(大学入学共通テスト利用型)【2期】

厚生労働省の歯科疾患実態調査によると、虫歯を持つ子どもの割合は急速に減少している。例えば平成17年(2005)の「虫歯のない者(永久歯・乳歯)」の割合は5歳児で39.5%, 10歳児で37.5%だったのに対し、令和4年(2022年)には5歳児で82.4%, 10歳児で76.5%となっている<sup>1)</sup>。

この理由として考えられるのは何か。また子どもたちに対する「虫歯の治療」が減少する中で、今後の歯科医療の在り方について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

参照：<sup>1)</sup>厚生労働省 歯科疾患実態調査(平成17年、令和4年)